公益財団法人伊勢志摩観光コンベンション機構

オフィシャルパートナーとしての企業紹介（参加目的等メッセージ、商材、連絡先など）

伊勢志摩国立公園は他の国立公園とは違い、民有地が９６パーセントを占めており、人の営みと自然が共存してる地域です。伊勢志摩観光コンベンション機構ではその特色を活用し、様々なプロモーション活動により国内外へ里海里山の自然、循環の文化の魅力発信を進めています。より一層の伊勢志摩国立公園の魅力発信、誘客促進につなげたいと思います。

担当者（問合せ先）：大下　凌　　連絡先：0596-44-0800

パートナー参加に関する基本的な姿勢、考え等

＜関心のある課題、取組＞
・国内誘客プロモーション
・ホームページ・SNSでの情報発信
・パンフレットによる情報発信
・展示会の出展
・訪日外国人誘客のプロモーション、受入環境整備

＜企業等の強み等＞
伊勢志摩地域は、神宮、豊富な食、海女文化、そして伊勢志摩国立公園など多彩な観光資源があります。それらを広域のスケールメリットを活かし、ホームページ、パンフレット、展示会の出展等の各種事業により一体的に情報発信、プロモーションに取り組んでいます。

＜目標、実現したいこと＞
・伊勢志摩国立公園の魅力発信を通じて、国内外の観光客の増加、消費促進等により、「“観光立圏”伊勢志摩経済圏の活性化」をめざします

具体的な取組内容

＜本年度の取組＞
・伊勢志摩国公園内にて欧米豪、アジア圏を対象としたファムトリップを積極的な受け入れ、国立公園の魅力発信を行う。
・中部・北陸地域へのインバウンド推進事業である昇龍道事業において三重県内の国立公園のPR活動を行う。
・環境省により作成された動画、画像を各種プロモーションに活用し、国立公園の認知度を向上させる。
・伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会および地域学生と連携し、国立公園を活かした国内外向けのコンテンツ作成、情報発信、ＰＲ活動を行う。

＜次年度取組予定、構想＞
・今年度に引き続き、伊勢志摩国公園内にて欧米豪、アジア圏を対象としたファムトリップを積極的な受け入れ、国立公園の魅力発信を行う。
・令和15年に予定されている第63回神宮式年遷宮を契機とした地域活性化の事業を通じて、国立公園の魅力発信、認知向上、理解促進を図る。
・高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル地域事業において、エキスパートガイド等の発掘及びレベルアップ、コネクション形成、観光を通した域内経済活性化、情報発信強化を行い、国立公園の魅力発信、受入環境の整備を行う。